

## 概要



### 【愛称】きんぎょタクシー

金魚は長洲町のシンボルであり、この予約型乗合タクシーが今後長洲町のシンボルになるようにと、町民の方が期待を込めて名付けた。

### 【運行主体】有限会社 長洲タクシー

平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金を活用し、長洲町の地域公共交通について長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会において検討する。その結果、町内を運行する路線バス2路線に対する補助を廃止し、その財源を基に新たに平成23年10月3日からフルデマンド型の長洲町予約型乗合タクシー(愛称:きんぎょタクシー)を運行することとした。きんぎょタクシーは、高齢者等の交通弱者の移動を優先的に確保するために導入した交通手段であり、導入以降、多くの方が利用され、生活に欠かすことのできない交通手段として機能している。きんぎょタクシーは、今後も住民にとって重要な交通手段であるため、地域公共交通確保維持事業により生活交通を存続させていくことが必要である。

## 基礎データ

人口:16,527人(平成26年11月末現在)  
 面積:19.44平方キロメートル  
 高齢化率:29.8%  
 補助対象の系統数:1系統(確保維持事業のみ)  
 自治体負担額:H24:7,328千円、H25:5,908千円、H26:6,042千円  
 協議会開催数:2回/年

## 計画、目標(Plan)

人口減少や自動車社会の到来に伴い、長洲町における公共交通利用者は急激に減少し、公共交通を維持していくことが困難な状況にある。その一方で、少子高齢化は急激に進展しており、今後の地域公共交通のあり方が問われる状況にもなっている。  
 このような状況の中、平成23年3月に「長洲・荒尾地域公共交通総合連携計画」を策定し、財政負担の維持抑制に配慮しながら、地域公共交通の利便性を向上し、誰もが気軽に移動できる公共交通の整備を図ることとした。  
 また、この計画は、『みんなの力で、夢・希望・活力・安全・安心のあるまち』を将来像とする第5次長洲町総合振興計画に基づき策定している。

## ネットワーク計画等の取組み(Do)

生活交通ネットワーク計画どおり、長洲町予約型乗合タクシー(愛称:きんぎょタクシー)を運行することにより、高齢者等の日常生活に必要な移動手段の確保を図った。

## 実施状況、目標の達成(Check)

地域公共交通体系の見直しによる利用者数の増加  
 目標 8,000人(H22) ⇒ 13,000人(H26)  
 実績 14,725人(H26)  
 地域公共交通体系の見直しによる財政負担額の維持・抑制  
 目標 15,000千円以内での運行  
 実績 H24:7,328千円、H25:5,908千円、H26:6,042千円(自治体負担額)

## 今後の課題、対応(Action)

数値目標の達成状況からも、現状の運行に関しては順調に推移している。しかし、目標を上回る利用状況にあり、日によって利用できない時間帯も生じてきているため、今後、利用者の状況を観察しながら増車等についても検討していく。また、その際の財政負担についても、目標額に注意しながら、導入を検討していきたいと考えている。